

亜細亜大学ご支援のお願い

母校を紡ぐ

- スポーツ振興資金
- 教育研究振興資金
- 教育研究振興資金
(使途区分：留学プログラムを支援する)
- ASEAN諸国留学生奨学金
- 冠留学生奨学金
- 亜大古本募金
- 遺贈・相続財産によるご寄付



(ご注意)
この用紙は、ゆうちょ通帳アプリおよびゆうちょ銀行・郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。機械で読み取りますので、口座記号番号および金額を記入する際は、枠内にはっきりとご記入ください。また、用紙を汚したり、折り曲げたりしないようにしてください。払込みの際、法令等に基づき、依頼人様（および代理人様）の運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。この用紙の通信欄・ご依頼人に記載されたおとことろ・おなまえ等は、加入者様に通知されます。この受領証は、払込みの証拠となるものです。大切に保管してください。備考欄に「口座払」の印字をしたものは、通常貯金口座から指定口座への払込みが行われたものです。この用紙をゆうちょ銀行または郵便局にお預けになるときは、引き換えに「預り証」を、必ずお受け取りください。

収入印紙
課税相当額以上
貼 付
印

(2024.1)

(ご注意)
この用紙は、ゆうちょ通帳アプリおよびゆうちょ銀行・郵便局の払込機能付きATMでもご利用いただけます。機械で読み取りますので、口座記号番号および金額を記入する際は、枠内にはっきりとご記入ください。また、用紙を汚したり、折り曲げたりしないようにしてください。払込みの際、法令等に基づき、依頼人様（および代理人様）の運転免許証等、顔写真付きの公的証明書類のご提示をお願いする場合があります。この用紙の通信欄・ご依頼人に記載されたおとことろ・おなまえ等は、加入者様に通知されます。この受領証は、払込みの証拠となるものです。大切に保管してください。備考欄に「口座払」の印字をしたものは、通常貯金口座から指定口座への払込みが行われたものです。この用紙をゆうちょ銀行または郵便局にお預けになるときは、引き換えに「預り証」を、必ずお受け取りください。

収入印紙
課税相当額以上
貼 付
印

(2024.1)



ご寄付に関するお問い合わせ先

- 寄付事業全体に関すること
総務部 総務課 TEL:0422-36-3241/E-mail:somu@asia-u.ac.jp
- 申込や振込方法等に関すること
財務部 財務課 TEL:0422-36-3251/E-mail:zaimu@asia-u.ac.jp

ごあいさつ



学校法人亜細亜学園理事長
巴 政雄



亜細亜大学学長
永綱 憲悟

亜細亜学園は、昭和16(1941)年の創設以来、建学精神「自助協力」のもと、アジア各国やアメリカとの国際交流を軸に、広く産業界の期待に応えられる真の国際人を育成することを使命として、教育・研究活動を行ってまいりました。

平成28(2016)年には亜細亜大学中長期計画「アジア未来マップ2025」を策定し、建学の精神に基づき「多様な夢に挑み、アジアの未来に飛躍する創造的人材の育成」をミッションとして掲げました。そして、令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの「第3期5か年中期行動計画」では、「楽しい大学・面白授業・アジアと共に～選びたくなる亜細亜大学～」をスローガンとして、国際化、教育・研究活動、学修環境・支援、社会連携、大学運営の5つの重点行動施策を推進し、更なる教育の質の向上に努めております。

令和7(2025)年4月に、現代社会の多様な課題を客観的に捉える力や、他者との柔軟なコミュニケーション能力を身に付け、積極的に現代社会の現場で活動する人材を育成するため、社会学部現代社会学科を開設しました。

さらに、令和8(2026)年4月開設予定で、健康スポーツ科学部健康スポーツ科学科の設置認可申請を行っており、健康とスポーツについての深い理解とデータとデジタル技術の活用能力を備えることで、人々の健康実現とウェルビーイングな社会の発展に貢献することのできる人材育成を目指してまいります。

つきましては、本学園の一層の充実と発展を期すために、教育研究振興資金、スポーツ振興資金、ASEAN諸国留学生奨学金、冠留学生奨学金、亜大古本募金及び遺贈・相続財産によるご寄付の各趣旨にご賛同いただき、皆様の特段のご理解とご援助を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

令和7年4月

学校法人亜細亜学園 理事長 巴 政雄
亜細亜大学 学 長 永綱 憲悟

建学の精神 自助協力

亜細亜大学の「自助協力」は、太田耕造初代学長が提唱した建学精神です。太田耕造初代学長は、「自己を助ける者は自己なり、自己こそ最上の助け主なり」、「自助は独立に通ず」、「協力の花は自助の根から」と述べました。「自助」とは、一人ひとりがしっかりと自己を確立し、それぞれの道を切り拓くこと。真の「協力」とは自立した人間同士の協力関係であると説いているのです。太田耕造初代学長は、このような精神を身に付けた誠実な人材を育成して、アジア全体の発展に貢献することを建学の使命としました。現代においても、その精神は脈々と受け継がれています。



寄付金事業の紹介

P3 》 スポーツ振興資金 1口 5,000円



P4 》 教育研究振興資金 1口 1,000円



P5 》 教育研究振興資金 1口 1,000円 (使途区分: 留学プログラムを支援する)

P6 》 教育研究振興資金の返礼品紹介



P7 》 ASEAN諸国留学生奨学金



P8 》 冠留学生奨学金 / 亜大古本募金 / 遺贈・相続財産によるご寄付

P9 》 TOPICS 【寄付者からのメッセージ】 松田宣浩さんのインタビュー 野球評論家(硬式野球部OB 2006年卒業)



P10 》 沿革【亜細亜学園のおゆみ】

P11 》 寄付金に対する税制上の優遇措置

P12~14 》 申込方法・払込用紙

スポーツ振興資金

亜細亜大学を創設して以来、建学精神「自助協力」の実践の場として課外活動を奨励してまいりました。特に、スポーツ活動は、そのフェアプレイ精神と鍛錬に耐える精神の発露により、周りに大きな感動を与え、同時に、学生たちの大きな成長の機会となります。本寄付事業は、体育会29団体が世界・全国で活躍するために、合宿費や大会参加費等に充当する資金です。

寄付概要

募集期間	募集対象
令和6年4月1日から 令和11年3月31日まで	卒業生を中心に、 広く一般の後援者
募金額	用途
1口 5,000円	① 体育会全体の活動支援 ② 体育会個別団体への指定支援

体育会団体一覧

- ・アジア女子ローンテニス部
- ・居合道部
- ・弓道部
- ・硬式野球部
- ・自動車部
- ・準硬式野球部
- ・水泳部
- ・軟式野球部
- ・バドミントン部
- ・洋弓部
- ・アメリカンフットボール部
- ・空手道部
- ・硬式庭球部
- ・サッカー部
- ・柔道部
- ・女子陸上競技部
- ・セパタクロー部
- ・バスケットボール部
- ・ボクシング部
- ・ワンダーフォーゲル部
- ・応援指導部
- ・剣道部
- ・ゴルフ部
- ・社会体育研究会
- ・女子バレーボール部
- ・吹奏楽団
- ・日本拳法部
- ・バレーボール部
- ・陸上競技部

学生の声 Thank you Message

発足したばかりの女子陸上競技部。明るい雰囲気惹かれて入部しました。2大全国駅伝大会(全日本大学女子駅伝、富士山女子駅伝)への出場を目指して活動をし、部としても個人としても目標を達成してきました。令和6年は、全日本大学女子駅伝への切符を逃し、悔しさを味わいましたが、これをバネに練習を重ね、富士山女子駅伝ではチーム過去最高の10位という結果につながりました。いただいたご寄付は遠征費やトレーナー費用等に活用し、目標達成の支えとなっています。各大会の順位更新も視野に、チーム一丸となって頑張っていきたいと思っております。

沖 千都さん (常葉大学附属菊川高等学校出身)
国際関係学部国際関係学科4年生 女子陸上競技部 主将



Students' Voices

事業報告

令和6年度に頂戴しました
寄付金の合計金額

5,926,800円

となりました！

皆様の深いご理解と
ご協力に感謝し、
厚く御礼申し上げます



寄付に関する
詳細はこちらから

教育研究振興資金

教育研究振興資金は、建学精神「自助協力」のもと、広く産業界の期待に応えられる真の国際人を育成することを使命として、教育・研究活動の整備及び活動振興を行うための資金です。

寄付概要

募集期間	募集対象
令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで	法人、卒業生、父母、教職員等
募金額	用途
1口 1,000円	教育・研究活動の整備及び活動振興

寄付金の活用事例

総合学生情報システムの
バージョンアップ
及びクラウド移行

履修登録や日々の講義情報の確認などのために全学生が利用する「亜大ポータル」のバージョンアップを行い、より利用しやすくなりました。また、クラウド移行により、災害時でも学びを止めない体制となっております。

充当経費:13,231,530円

English Cafe

授業の空きコマを利用して、外国人講師とフリートークが楽しめる「English Cafe」を開催しています。気軽に参加できる英会話の場を設けることにより、語学力はもちろんのこと、英語によるコミュニケーション力が向上し、自発的に英語学習に取り組む学生が増えました。令和6年度は1,083名の利用がありました。

充当経費:2,973,300円

コンピテンシー診断
及び就職支援プログラム

自らの考え方や行動傾向を測定し、ビジネス社会で生きる持ち味(コンピテンシー)を診断するテストで学生の自己理解を促進し、キャリア形成及び就職活動の入口として活用するプログラムで、令和6年度は1,929名の利用がありました。

充当経費:1,100,000円

正課外フィールドワーク事業

充当経費:92,676円

鹿児島県屋久島町と都市創造学部 白井宏昌教授のゼミナールとの連携事業の一部経費として充当しました。屋久島安房集落において、建物用途や空き家の分布の現地調査を行い、「空間資源マップ」を作成し、これをもとに、未活用空間の利活用に関して地域住民の方々とディスカッションを行いました。

学生の声 Thank you Message

Thank you Message

「百聞は一見に如かず」、現地の雰囲気を感じながらのフィールドワークは非常に貴重な体験になりました。また、地元の方とのディスカッションでは、一つのチームとして問題解決に向かって様々な意見を交わすことができたのが印象的です。自ら課題を発見し、知らないことへの好奇心をもつ姿勢は、今後の社会人生活でも生きてくることだと思いました。

伊藤 麟之介さん (正則学園高等学校出身)
榎原 稜さん (西武台千葉高等学校出身)
都市創造学部都市創造学科 2025年卒業白井ゼミ(空間デザインゼミ)出身



Students' Voices

事業報告

令和6年度に頂戴しました
寄付金の合計金額

17,497,506円

となりました！

皆様の深いご理解と
ご協力に感謝し、
厚く御礼申し上げます



寄付に関する
詳細はこちらから

教育研究振興資金

(使途区分:留学プログラムを支援する)

亜細亜大学は創設時から「アジアの興隆に寄与する人材の育成」を建学の使命として掲げております。オリジナリティ溢れる留学プログラムを意欲的に開発し、卒業生の6人に1人が留学を経験しております。今後も目標に向かって頑張る学生の夢を断念させず、1人でも多く支援していくため、教育研究振興資金の使途に「留学プログラムを支援する」区分を設け、海外留学における参加費などの補助に充当いたします。

寄付概要

募集期間	募集対象
令和4年4月1日から 令和9年3月31日まで	法人、卒業生、父母、教職員等
募金額	使途
1口 1,000円	海外留学における参加費などの補助

寄付金の活用事例

AUAP(亜細亜大学アメリカプログラム)参加者の留学費用

亜細亜大学には多彩な留学プログラムがあり、その中でも伝統的なAUAPの留学プログラムに参加した学生の中から、学業成績上位者が受給できる「亜細亜大学アメリカプログラム奨学金」に充当いたしました。

充当経費:2,200,000円

※令和5年度の寄付金を含む



事業報告

令和6年度に頂戴しました
寄付金の合計金額

1,229,000円

となりました!

皆様の深いご理解と
ご協力に感謝し、
厚く御礼申し上げます



寄付に関する
詳細はこちらから

教育研究振興資金(使途区分:留学プログラムを支援する)の返礼品紹介

教育研究振興資金の返礼品紹介

(使途区分:留学プログラムを支援する)

教育研究振興資金の中でも、「使途区分:留学プログラムを支援する」をお選びいただきますと、寄付金額に応じて、長くAUAP(亜細亜大学アメリカプログラム)派遣を行ってきた海外大学のグッズを返礼品として贈呈いたします。



必要寄付金額	2万円	3万円	5万円
	ボトル	ぬいぐるみ	ブランケット
	 返礼品番号 C-04 サイズ:直径7.2cm×高さ25.4cm 重量:130g	 返礼品番号 C-02 サイズ:幅20cm×奥行き17cm×高さ20cm	 返礼品番号 C-03 サイズ:縦130cm×横165cm
	 返礼品番号 E-04 サイズ:直径8.6cm×高さ22.8cm 重量:160g	 返礼品番号 E-02 サイズ:幅15cm×奥行き15cm×高さ29cm	 返礼品番号 E-03 サイズ:縦140cm×横220cm
	 返礼品番号 W-04 サイズ:直径6.9cm×高さ27.7cm 重量:160g	 返礼品番号 W-02 サイズ:幅17cm×奥行き22cm×高さ23cm	 返礼品番号 W-03 サイズ:縦145cm×横210cm

AUAP(亜細亜大学アメリカプログラム)ワシントン州派遣先大学

CWU (セントラルワシントン大学) 所在地: ワシントン州エレンズバーグ市 学生数: 約11,000人	EWU (イースタンワシントン大学) 所在地: ワシントン州チニー市 学生数: 約13,000人	WWU (ウェスタンワシントン大学) 所在地: ワシントン州ベリングハム市 学生数: 約15,000人 ※令和6年度をもって派遣終了
--	--	---

留意事項

- ◇ 累計の寄付金額ではなく、1回の寄付金額に応じて返礼品を選択することができます。寄付金額内での返礼品の組み合わせは可能です。(※1)
- ◇ ご寄付の入金が確認できた時期により、返礼品の発送スケジュールが異なります。(※2)
- ◇ ご希望の返礼品が在庫切れや製造中止となった場合には、代替品を送付しますので、ご了承ください。
- ◇ 法人及び団体からのご寄付の場合は、返礼品を選択することができません。
- ◇ 返礼品を辞退される場合は、払込取扱票の返礼品欄へのご記入は不要です。
- ◇ 払込取扱票の返礼品欄にご記入がない場合は、「返礼品の辞退」として取り扱いますので、ご了承ください。
- ◇ お届け先は、寄付申込時にご記入いただいた住所とさせていただきます。

(※1) 組み合わせ例

ご寄付の金額	返礼品
50,000円	①C-03 ②E-04、W-02
100,000円	①C-03、E-03 ②C-04、E-02、W-03

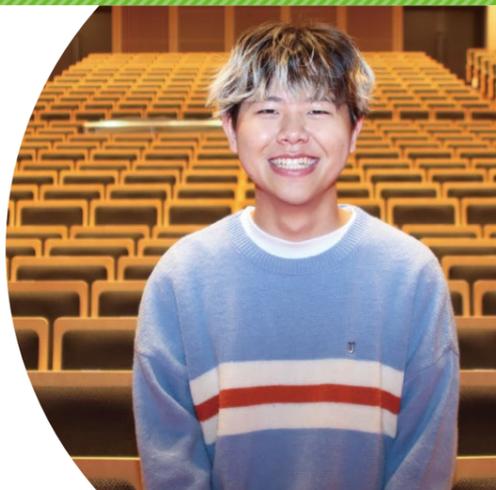
(※2) 発送予定

ご寄付の入金	返礼品の発送
4月~9月	11月中旬頃
10月~3月	5月中旬頃

学生の声 Thank you Message

令和6年春学期に、半年間のアメリカ留学プログラム・AUAPに参加し、セントラルワシントン大学に留学しました。留学先では、地域清掃など地元コミュニティに参加したり、現地ギャラリーに自分の絵を出展したり、一人旅に臨んだり、様々な挑戦で奨学金を活用しました。また、現地の友人を作るだけでなく、日本人学生とも英語で会話することを心掛けて語学力を鍛え、授業では最高評価を得ました。海外企業への就職も視野に、今後も学習を続けていきます。これから留学に向かう学生へのご支援を引き続きよろしくお願いたします。

江頭 聖矢さん(角川ドワンゴ学園S高等学校出身)
国際関係学部多文化コミュニケーション学科3年生



Students' Voices

ASEAN諸国留学生奨学金

「日本企業で活躍できるグローバル人材育成」を目指し、産業界はもとより広く社会の期待に応えられる真の国際人を育成することを目的に設立した、本学への留学を志すASEAN諸国の外国人留学生を対象とする奨学金です。

寄付概要

募集期間	募集対象
恒常的寄付事業のため、期間の定めなし	法人、卒業生、父母、教職員等
募金額	用途
自由に設定可能	ASEAN諸国からの外国人留学生の奨学金

寄付方法

申込用紙をご用意しております。

◇財務部財務課 TEL:0422-36-3251 まで、お問い合わせください。

奨学生の活躍

ベトナムでのインターンシップ

奨学生の意欲・能力が評価され、ベトナムビンズン省開発を行うベカメックス東急(東急株)とベカメックスIDCの合弁会社)での、インターンシップ実施が実現しました。令和6年10月31日～11月10日に経営学科3年生3名が現地へ派遣され、「JAPAN FESTIVAL」企画立案及びプレゼンテーションを行い、多くの学びを得ました。



事業報告

令和6年度に頂戴しました寄付金の合計金額

95,000,000円

となりました！

皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます



寄付に関する詳細はこちらから

冠留学生奨学金

亜細亜大学では在籍する外国人留学生の経済的支援活動の一環として、個人名・企業名を冠した「亜細亜学園冠留学生奨学金」の寄付を募集しています。生活が苦しい学生が多く、経済的理由により志半ばで帰国せざるを得ないこともあり、奨学金のおかげで無事卒業し、希望した企業の内定を勝ち取ることができたこともあります。

令和6年度は、寄付者のご意向に沿って選出された18名の外国人留学生に対して、奨学金を支給しました。なお、平成11年度より始まった本奨学金により、これまで延べ500名以上の留学生に対して財政支援を行っております。

寄付概要

募集期間	募集対象
恒常的寄付事業のため、期間の定めなし	法人・卒業生・父母・教職員等
募金額	用途
24万円	外国人留学生への奨学金【1人:月額2万円を毎月支給(12カ月)】

寄付方法

申込用紙をご用意しております。
◇国際連携部インターナショナルセンター TEL:0422-36-3255 まで、お問い合わせください。

亜大古本募金

「亜大古本募金」は、ご賛同いただける方々から利用しなくなった書籍、CD、DVDを送っていただき、その買取金額を亜細亜大学の教育・研究支援資金として寄付していただく取り組みです。なお、2010年以前に出版された本や、不揃いの漫画セット、ISBN(国際標準図書番号)がついていない本、雑誌などは対象外となっております。

寄付概要

募集期間	募集対象
恒常的寄付事業のため、期間の定めなし	法人、卒業生、父母、教職員等

申込みページは [コチラ](#)▼



遺贈・相続財産によるご寄付

近年、終活への関心が高まっており、備えとして身辺整理を始められた際、母校への寄付を検討される卒業生が増えてきております。本学園としても、皆様のご意志を実現させるお手伝いをするべく、令和6年4月から「遺贈・相続財産によるご寄付」を新設いたしました。

寄付概要

募集期間	種別	用途
恒常的寄付事業のため、期間の定めなし	① 遺贈寄付 ② 相続財産寄付 <small>※いずれも現金のみの受付とさせていただきます。</small>	教育研究環境の整備及び活動振興資金
備考		
詳細は別冊子「遺贈・相続財産によるご寄付のご案内」をご用意しております。総務部総務課(TEL:0422-36-3241)まで、お問い合わせください。		

事業報告

令和6年度に頂戴しました寄付金の合計金額

4,680,000円

となりました！

皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます

事業報告

令和6年度に頂戴しました寄付金の合計金額

14,032円
(書籍275冊)

となりました！

皆様の深いご理解とご協力に感謝し、厚く御礼申し上げます



寄付に関する詳細はこちらから

学生の声 Thank you Message

亜細亜大学での留学生活は、人生の大きな転機となりました。在学中は、留学生の学生団体が副会長を務め、留学生と日本人学生の交流イベントを企画しました。関係者との調整、役割分担、会場設営など、イベントを円滑に進めるための準備に尽力し、現場で起こりうる問題への危機管理対応も行いました。これらの経験から、チームワークや問題解決能力など、多くのことを学びました。奨学金がなければこの経験を得ることはできませんでした。卒業後はホテル業界へ就職します。亜細亜大学での経験を土台に、国や文化を越えて人と人を繋げられる存在を目指しています。

タン ユシユウさん (CHE TOM国民中等教育学校(マレーシア)出身) 国際関係学部多文化コミュニケーション学科 2025年卒業



Students' Voices



私と一緒に、大学・後輩達を「寄付」という形で応援していきましょう！

INTERVIEW まつだ のぶひろ
松田 宣浩さん
 野球評論家(硬式野球部OB 2006年卒業)

1983年滋賀県草津市生まれ。2002年、亜細亜大学に入学。卒業後の2006年、福岡ソフトバンクホークスに入団。2014年、2015年には選手会長としてソフトバンクホークスを日本シリーズ優勝に導いた。読売ジャイアンツに移籍後、2023年現役引退。2024年12月、野球日本代表 侍ジャパンの野手総合コーチに就任。現在は野球評論家として野球解説など多方面で活躍中。

「亜細亜大学に進学した理由」並びに「大学時代の思い出」について教えてください。

高校時代の自身の野球プレーに納得できなかったため、より成長できる環境を探したところ、野球も強く人間性を高められる場所として亜細亜大学を見つけ、進学を決めました。大学時代の思い出として、1年生の時に「第1回世界大学野球選手権大会」の日本代表メンバーに選出されたおかげで、早くから世界を知ることができ、そこから練習に力が入ったことを良く覚えています(笑)。常に野球のことを考えていましたが、意外と学問が面白く、今でも「経営学」で学んだことが活かされています。また、苦手な英語科目が必修だったため苦労しましたが、卒業後に海外に行くことが多くなり、今では学生時代に頑張った良かったと思っています。

松田さんにとって、「母校及び後輩はどのような存在か」教えてください。

野球の能力だけではなく、しっかりと人間性も高めることができたので、亜細亜大学を選んで良かったと思っています。また、野球に限らず、様々な分野・業界において、亜細亜大学の名前を見るたびに、現状に満足せず、私も負けじと一生懸命頑張りたいと奮い立たせてくれる存在です。

「寄付をした理由やきっかけ」について教えてください。

やはり、楽しいことも厳しいことも経験した大学時代があったからこそ、プロ野球生活が充実したんじゃないかと思えたことがきっかけです。少しでも母校である亜細亜大学と後輩達を応援したいという「熱い想い」で、激励の気持ちを込め「寄付」という形で支援させていただきます。

「亜細亜大学への期待」並びに「寄付を迷っている方にメッセージ」をお願いいたします。

今後も亜細亜大学ならではの人材を社会に送り出していただき、母校として誇れる大学として走り続けてください。
ぜひ私と一緒に、大学・後輩達を「寄付」という形で応援していきましょう！



亜細亜学園のあゆみ(抜粋)

- 昭和16(1941)年 興亜専門学校を開設
- 昭和20(1945)年 日本経済専門学校と改称
- 昭和25(1950)年 学制改革により日本経済短期大学に改組
- 昭和26(1951)年 学校法人に改組、法人名を猶興学園と改称
- 昭和29(1954)年 日本経済短期大学附属中国留学生部を開設
法人名を亜細亜学園と改称
- 昭和30(1955)年 亜細亜大学を設置
- 昭和36(1961)年 留学生部を亜細亜大学留学生別科と改組
- 昭和41(1966)年 亜細亜大学硬式野球部が
東都大学野球1部リーグ 初優勝
- 昭和49(1974)年 亜細亜大学経営・経済・法の各学部に
大学院(修士課程)を開設
- 昭和51(1976)年 経営・経済・法の各学部に大学院(博士課程)を開設
- 平成元(1989)年 亜細亜大学アメリカプログラム(AUAP)開設
- 平成5(1993)年 日本経済短期大学を亜細亜大学短期大学部と改称
- 平成16(2004)年 亜細亜大学「アジア夢カレッジ-キャリア開発中国プログラム-」を開始
- 平成18(2006)年 陸上競技部が
初の箱根駅伝総合優勝
- 平成29(2017)年 亜細亜大学短期大学部を廃止
- 平成30(2018)年 新1号館竣工
- 令和元(2019)年 亜細亜大学アジアスタディーズプログラム
(AUASP)を開設
- 令和5(2023)年 経営学部データサイエンス学科を開設
- 令和7(2025)年 社会学部現代社会学科を開設
亜細亜大学韓国プログラム(AUKP)を開設



本学園への寄付は以下の税制上の優遇措置を受けることができます。

個人の場合

寄付者個人の選択により、**①**所得税額の控除か、**②**所得金額からの控除のどちらかが適用されます。

例：東京都武蔵野市在住の方の場合

課税される年間所得金額 ▶ **500万円** 大学への寄付金額 ▶ **100,000円**



確定申告
メリットの大きい方を選択

① 税額控除

所得税率に関係なく、**直接所得税から控除**

$$\left[\begin{array}{l} \text{寄付金額}^{\ast 1} \\ \text{100,000円} \end{array} - \begin{array}{l} \text{限度額} \\ \text{2,000円} \end{array} \right] \times \begin{array}{l} \text{控除率} \\ \text{40\%} \end{array} = \begin{array}{l} \text{控除額}^{\ast 2} \\ \text{39,200円} \end{array}$$

※1：控除対象となる寄付金額は年間総所得額等の40%が上限
※2：当該年の所得税額の25%が上限

② 所得控除

所得金額に応じ、**税率を掛けて**控除額を算出

$$\left[\begin{array}{l} \text{寄付金額}^{\ast 3} \\ \text{100,000円} \end{array} - \begin{array}{l} \text{限度額} \\ \text{2,000円} \end{array} \right] \times \begin{array}{l} \text{所得税率}^{\ast 4} \\ \text{20\%} \end{array} = \begin{array}{l} \text{控除額} \\ \text{19,600円} \end{array}$$

※3：控除対象となる寄付金額は年間総所得額等の40%が上限
※4：年間の所得金額により異なります

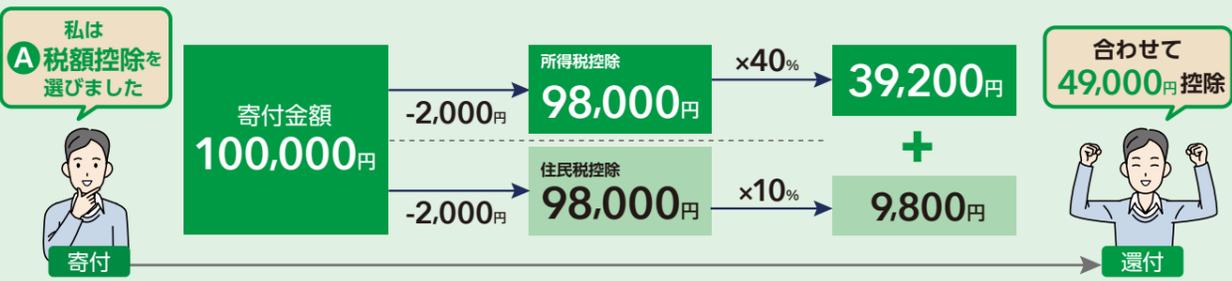
住民税の控除

お住まいの地域により**最大10%**(都道府県、市区町村分を合わせて)の住民税控除

$$\left[\begin{array}{l} \text{寄付金額}^{\ast 5} \\ \text{100,000円} \end{array} - \begin{array}{l} \text{限度額} \\ \text{2,000円} \end{array} \right] \times \begin{array}{l} \text{住民税控除率} \\ \text{10\%} \end{array} = \begin{array}{l} \text{控除額} \\ \text{9,800円} \end{array}$$

※5：寄付した年の年間総所得金額等の30%が上限

※学校法人への寄付金が税額控除の対象に指定されている場合には、住民税の控除も受けることができます。
※学校法人への寄付金が税額控除の対象に指定されているかは、お住まいの地方公共団体税務担当課にお問い合わせください。



法人の場合

法人税法に基づく特定寄付金として、当該事業年度の損金に算入(損金算入限度額以内)することができます。また、教育研究振興資金では、**寄付金全額**を損金として算入できる「**受配者指定寄付金制度**」^{※6}もご利用いただけます。

※6：受配者指定寄付金制度…日本私立学校振興・共済事業団を通じて、寄付者が指定した学校法人へ寄付する制度です。ご利用の際は、財務課(zaimu@asia-u.ac.jp)まで、お問い合わせください。

手続き方法・年末のご寄付に関するご注意

税制上の優遇措置に必要な寄付金受領書の日付は、本学園口座への入金日です。申込日や決済日、カード決済口座からの振替日ではありませんので、寄付金控除の適用対象年については十分ご注意ください。税控除のための必要書類や手続き方法については、右記二次元コードより大学公式サイトをご参照ください。なお、「年末のご寄付に関するご注意」もあわせて掲載しております。税控除をお考えの方は必ずご確認ください。 <https://www.asia-u.ac.jp/about/donation/genmei/>



※寄付金控除を受けるには確定申告が必要となります。詳しい条件などはお住まいの地域を管轄する税務署等へご相談ください。

申込方法①

専用払込取扱票(お払込み[ゆうちょ銀行・郵便局のみ]からご寄付をご希望される場合)

(1)P12・14の「払込取扱票」に金額・郵便番号・住所・氏名・電話番号等の必要事項をご記入ください。

※「教育研究振興資金」、「教育研究振興資金(使途区分:留学プログラムを支援する)」及び「スポーツ振興資金」それぞれ払込取扱票が異なりますので、ご注意ください。

(2)ご記入された金額をお払込みください。

※お払込みはゆうちょ銀行・郵便局のみとなります。

手続き後の流れについて

寄付金の入金を確認された次第、「寄付金受領書」及び所得税等の控除手続きに必要な証明書をお送りいたします。ご芳名や寄付金額は、事前に許諾をいただいた方のみ、大学広報紙「広報アジア」等に掲載させていただきます。なお、氏名・住所等の個人情報は適正に取り扱い、寄付金業務以外には使用いたしません。

【記入例】A スポーツ振興資金

02	東京	払込取扱票	通常払込料金加入者負担
口座記号番号		金額	千 百 十 万 千 百 十 円
001907		40033	000
学校法人亜細亜学園		料金	備考
「スポーツ振興資金」として寄付いたします。			
フリガナ		支援団体	
亜細亜 太郎		00000部	
〒180-8629 TEL0422-36-3241		日 附 印	
東京都武蔵野市境5丁目8番		日 附 印	
ご依頼人欄に、おとこ・おなまえをご記入ください。(承認番号 第64252号)		ご依頼人欄に、おとこ・おなまえをご記入ください。(承認番号 第64252号)	

【記入例】C 教育研究振興資金 (使途区分:留学プログラムを支援する)

02	東京	払込取扱票	通常払込料金加入者負担
口座記号番号		金額	千 百 十 万 千 百 十 円
001907		40033	000
学校法人亜細亜学園		料金	備考
「教育研究振興資金(使途区分:留学プログラムを支援する)」として寄付いたします。			
フリガナ		申請品目	申請金額
亜細亜 太郎		C-04	1 20,000円
〒180-8629 TEL0422-36-3241		E-02	1 30,000円
東京都武蔵野市境5丁目8番		W-03	1 50,000円
ご依頼人欄に、おとこ・おなまえをご記入ください。(承認番号 第64252号)		合計金額	100,000円

A スポーツ振興資金

02	東京	払込取扱票	通常払込料金加入者負担
口座記号番号		金額	千 百 十 万 千 百 十 円
001907		40033	000
学校法人亜細亜学園		料金	備考
「スポーツ振興資金」として寄付いたします。			
※☑をつけてください。(「スポーツ振興資金」に寄付された方全員) □広報紙等へ氏名と金額を公表する。□広報紙等へ公表しない。			
フリガナ		支援団体	
氏名		※	
住所		※体育会団体の指定があればご記入ください。なければ空欄でお申し込みください。	
TEL		日 附 印	
ご依頼人欄に、おとこ・おなまえをご記入ください。(承認番号 第64252号)		ご依頼人欄に、おとこ・おなまえをご記入ください。(承認番号 第64252号)	

振替払込請求書兼受領証

口座記号番号	001907	通常払込料金加入者負担
金額	40033	千 百 十 万 千 百 十 円
金額	000	000
ご依頼人	学校法人亜細亜学園	おなまえ
ご依頼人	様	日 附 印
料金	日 附 印	備考

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押ししてください。切り取らないでください。

この受領証は、大切に保管してください。

申込方法②

オンライン決済(クレジットカード決済やコンビニエンスストア決済からご寄付をご希望される場合)

(1) 本学園公式サイト「ご寄付のお願い」にアクセスいただき、
オンライン寄付フォームを選択してください。
<https://www.asia-u.ac.jp/about/donation/>

「ご寄付のお願い」への
アクセスはコチラ▶



(2) メールアドレスをご入力いただきましたら、寄付手続開始メールが送信されますので、
メール本文内のURLをクリックし、手続きを進めてください。

手続きの流れ



クレジットカード決済

以下のロゴマークがついているクレジットカードがご利用いただけます。



コンビニエンスストア決済

以下のコンビニエンスストアでご利用いただけます。



(ご注意)
この用紙は、ゆうちょ通帳アプリ
およびゆうちょ銀行・郵便局の払
込機能付きATMでもご利用いた
だけます。
この用紙は、機械で読み取ります
ので、口座記号番号および金額を
記入する際は、枠内にはっきりと
ご記入ください。
また、用紙を汚したり、折り曲げ
たりしないでください。
払込みの際、法令等に基づき、依
頼人様(および代理人様)の運転
免許証等、顔写真付きの公的証明
書類のご提示をお願いする場合が
あります。
この用紙の通信欄・ご依頼人に記
されたおところ・おなまえ等は、
加入者様に通知されます。
この受領証は、払込みの証拠とな
ります。大切に保管してください。
お、備考欄に「口座払」の印字
をしたものは、通常貯金口座から
指定口座への払込みが行われたも
の用紙をゆうちょ銀行または郵
便局にお預けになるときは、引き
換えに「預り証」を、必ずお受け
取りください。

収入印紙
課税相当額以上
貼付

印

(2024.1)

B 教育研究振興資金

各票の※印欄はご依頼人様においてご記入ください。

折り返しを入れてから切り離してください。

02	東京	払込取扱票				通常払込料金 加入者負担						
口座記号番号				金額	千	百	十	万	千	百	十	円
001907				40033	*							000
加入者名 学校法人亜細亜学園				料金								備考
「教育研究振興資金」として寄付いたします。 ※☑をつけてください。「教育研究振興資金」に寄付された方全員) □広報紙へ氏名と金額を公表する。□広報紙へ公表しない。												
*フリガナ				*返礼品番号		*数量		*小計金額				
*氏名				*住所		*合計金額		円				
*〒				TEL		円		円				
*学園との関係				*年代		日		附		印		
* <input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 卒業生 <input type="checkbox"/> 父母				* <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代								
* <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> その他				* <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上								
ご依頼人欄に、おところ・おなまえをご記入ください。(承認番号 第64252号) これより下部には何も記入しないでください。												

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しください。

口座記号番号	001907				通常払込 料金加入 者負担				
40033									
加入者名 学校法人亜細亜学園									
金額		千	百	十	万	千	百	十	円
*									000
*おなまえ									
ご依頼人									
様									
料金									
日 附 印									
備考									

この受領証は、大切に保管してください。

C 教育研究振興資金(使途区分:留学プログラムを支援する)

各票の※印欄はご依頼人様においてご記入ください。

折り返しを入れてから切り離してください。

02	東京	払込取扱票				通常払込料金 加入者負担						
口座記号番号				金額	千	百	十	万	千	百	十	円
001907				40033	*							000
加入者名 学校法人亜細亜学園				料金								備考
「教育研究振興資金」(使途区分:留学プログラムを支援する)として寄付いたします。 ※☑をつけてください。「教育研究振興資金」に寄付された方全員) □広報紙へ氏名と金額を公表する。□広報紙へ公表しない。												
*フリガナ				*返礼品番号		*数量		*小計金額				
*氏名				*住所		*合計金額		円				
*〒				TEL		円		円				
*学園との関係				*年代		日		附		印		
* <input type="checkbox"/> 法人 <input type="checkbox"/> 卒業生 <input type="checkbox"/> 父母				* <input type="checkbox"/> 20代 <input type="checkbox"/> 30代 <input type="checkbox"/> 40代								
* <input type="checkbox"/> 教職員 <input type="checkbox"/> その他				* <input type="checkbox"/> 50代 <input type="checkbox"/> 60代 <input type="checkbox"/> 70代以上								
ご依頼人欄に、おところ・おなまえをご記入ください。(承認番号 第64252号) これより下部には何も記入しないでください。												

記載事項を訂正した場合は、その箇所に訂正印を押してください。
切り取らないでお出しください。

口座記号番号	001907				通常払込 料金加入 者負担				
40033									
加入者名 学校法人亜細亜学園									
金額		千	百	十	万	千	百	十	円
*									000
*おなまえ									
ご依頼人									
様									
料金									
日 附 印									
備考									

この受領証は、大切に保管してください。

あなたのご支援が未来をつくる

数字で見る 教育研究振興資金の活用例

- 5万円の寄付で 図書館の蔵書約20冊分となり、授業の事前・事後学修を深めることができます。
- 10万円の寄付で 本学が定めた検定試験(MOS、日商簿記検定、中国語検定試験、手話技能検定等)を合格した学生約10人分の報奨金となり、更なるステップアップに繋がります。
- 50万円の寄付で 自習や課外活動等で使用するPC約3台分となり、充実した学生生活を送ることができます。

他にも…留学奨励金、課外活動費等に活用することができます。